

2026年1月30日

2026年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

東証プライム・名証プレミア 証券コード:2053
ホームページ <https://www.chubushiryō.co.jp/>
お問い合わせ先 TEL: 052-204-3050 総務人事部

目次

26.3期 3Q 決算レビュー	株主還元
◇ 連結経営成績4	◇ 配当・自己株式の取得の状況16
◇ 営業利益の増減要因5	◇ 株主優待17
◇ 連結財政状態6	
◇ 事業環境①②③7-9	通期見通し
◇ 飼料セグメントの状況	◇ 通期見通し①②19-20
① 畜産飼料の動向10	その他
② 原料ポジションの状況11	◇ 固定資産の譲渡および特別利益の 計上に関するお知らせ22
③ 変動費及び固定費の状況12	◇ トピックス① 食育活動23
④ 水産飼料の動向13	◇ トピックス② 知名度向上の取組み24
◇ その他セグメントの状況14	◇ 参考資料25

26.3期 3Q 決算レビュー

◇ 連結経営成績	4
◇ 営業利益の増減要因	5
◇ 連結財政状態	6
◇ 事業環境①②③	7-9
◇ 飼料セグメントの状況	
① 畜産飼料の動向	10
② 原料ポジションの状況	11
③ 変動費及び固定費の状況	12
④ 水産飼料の動向	13
◇ その他セグメントの状況	14

株主還元

◇ 配当・自己株式の取得の状況	16
◇ 株主優待	17

通期見通し

◇ 通期見通し①②	19-20
-----------------	-------

その他

◇ 固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ	22
◇ トピックス① 食育活動	23
◇ トピックス② 知名度向上の取組み	24
◇ 参考資料	25

連結経営成績

(単位:百万円)

	通期計画	25.3 3Q	26.3 3Q	前年同期比	計画進捗率
売上高	212,000	157,428	158,120	691	74.6%
飼料	194,500	144,687	143,787	△899	73.9%
その他 ※1	17,500	12,741	14,332	1,591	81.9%
営業利益	5,200	2,707	4,423	1,716	85.1%
経常利益	5,600	3,128	4,908	1,779	87.6%
セグメント利益 ※2	5,850	3,399	5,265	1,866	90.0%
飼料	5,200	2,550	4,473	1,922	86.0%
その他 ※1	950	918	786	△131	82.8%
調整額 ※3	△300	△70	5	75	—
当期純利益	4,100	2,370	3,721	1,350	90.8%
設備投資額	3,500	3,285	2,540	△745	72.6%
減価償却費	3,050	2,171	2,218	47	72.7%
基金負担金	5,500	3,946	4,089	143	74.4%

◇ 売上高は増加

- 畜産飼料の平均販売価格の下落等による飼料セグメントの減少を、鶏卵販売の売上高増加によるその他セグメントの増収が上回る

◇ 営業利益は増益

- 次ページで説明

◇ セグメント利益は増益

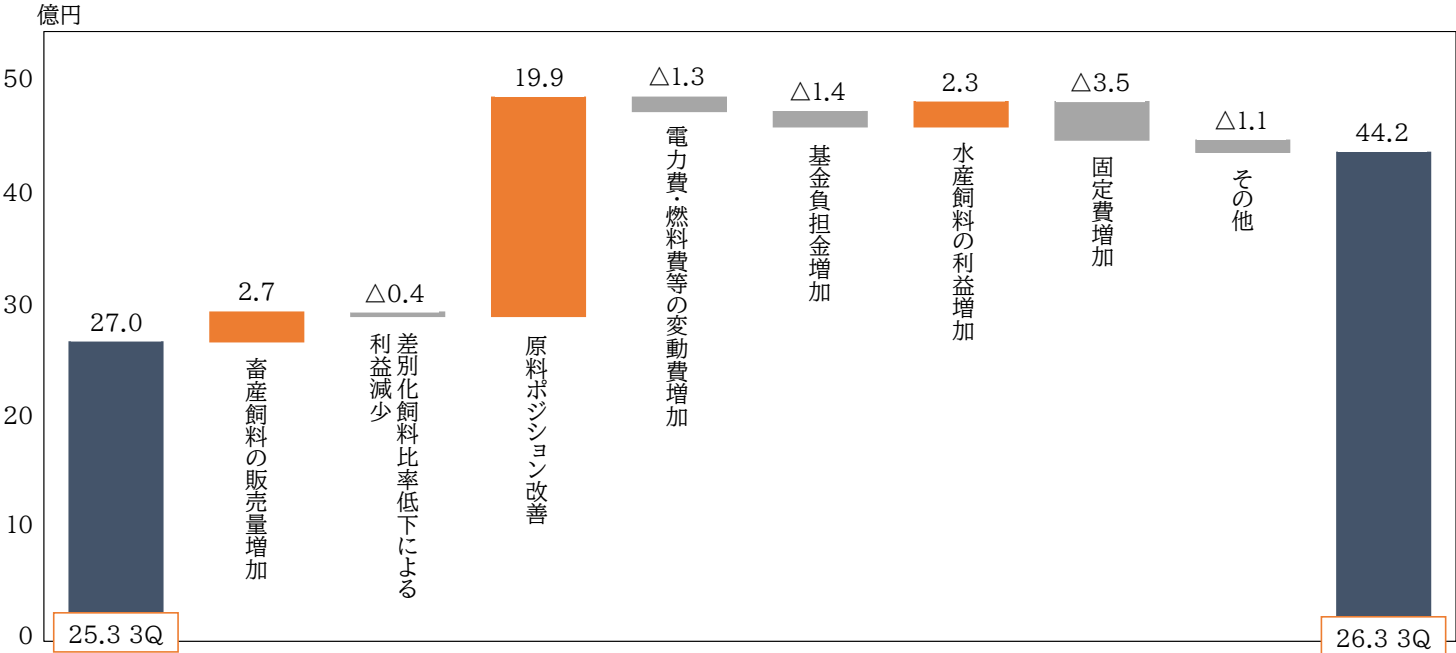
- 飼料セグメントは10ページ以降
- その他セグメントは14ページを参照
- 調整額の増加は、受取配当金と投資有価証券売却益の増加による

◇ 設備投資額は、前年同期比で減少しているが、計画通りに進捗

※1. その他セグメント:鶏卵販売・肥料・畜産用機器・保険代理業等
 ※2. セグメント利益:税金等調整前四半期純利益
 ※3. 調整額:各報告セグメントに配分していない全社費用、金融収支を含む

営業利益の増減要因

◇ 営業利益は、原料ポジション改善、畜産飼料の販売量増加、水産飼料の利益増加により増益



5

連結財政状態

26.3期 3Q 要約連結貸借対照表

(単位：億円)

流動資産	689 (+28)
現預金	62 (△57)
売上債権	461 (+72)
たな卸資産	128 (+18)
流動比率	257.2%(△26.0pt)
固定資産	396 (+41)
有形	270 (+12)
無形	3 (△0)
投資その他	122 (+29)
総資産	1,086 (+70)

※ ()内の数値は25.3期末との比較

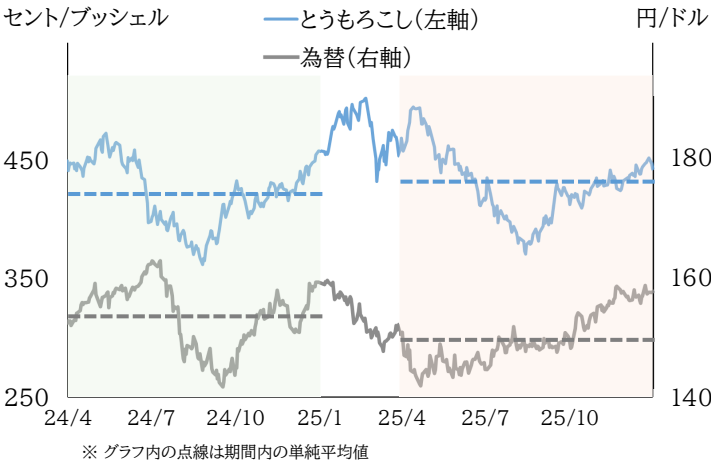
負債	382 (+41)
買掛金	197 (+45)
有利子負債	86 (△12)
DEレシオ	0.12倍(△0.02倍)
純資産	703 (+28)
株主資本	651 (+8)
その他包括利益	51 (+20)
非支配株主持分	0 (△0)
自己資本比率	64.7%(△1.7pt)
負債・純資産	1,086 (+70)

[参考] DEレシオ：負債資本比率 … 有利子負債が自己資本の何倍かを計算した数値

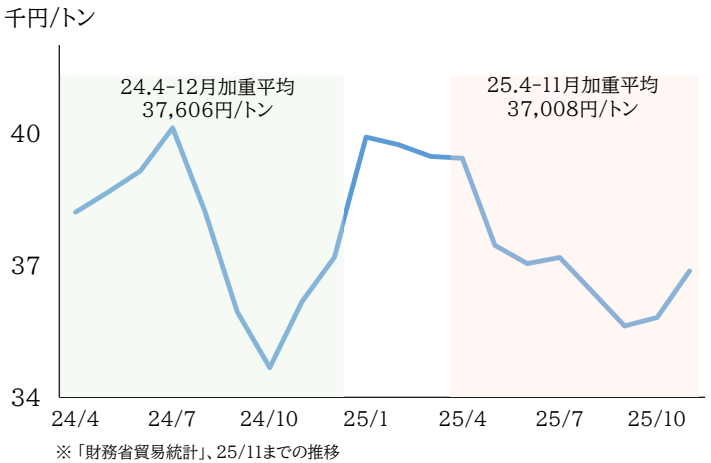
6

- ◇ とうもろこしシカゴ相場は、下落基調であったが、8月以降に上昇し前年同期を上回る
- ◇ 為替相場は、緩やかに円安で推移したものの、前年同期比では円高の水準
- ◇ とうもろこし通関価格は、円高の影響により前年同期を下回る

とうもろこしシカゴ相場と為替相場の推移



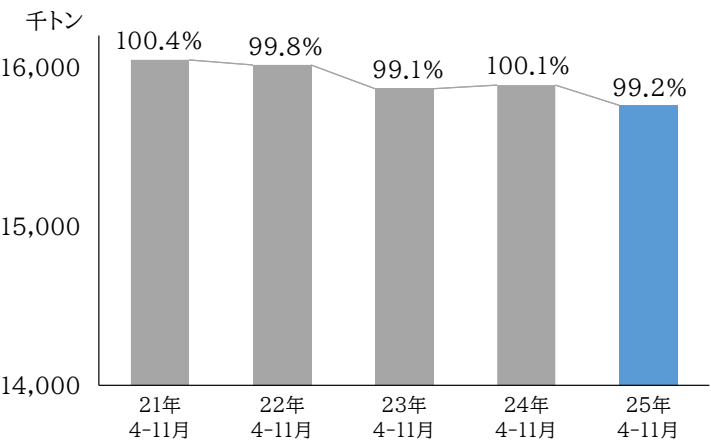
とうもろこし通関価格の推移



7

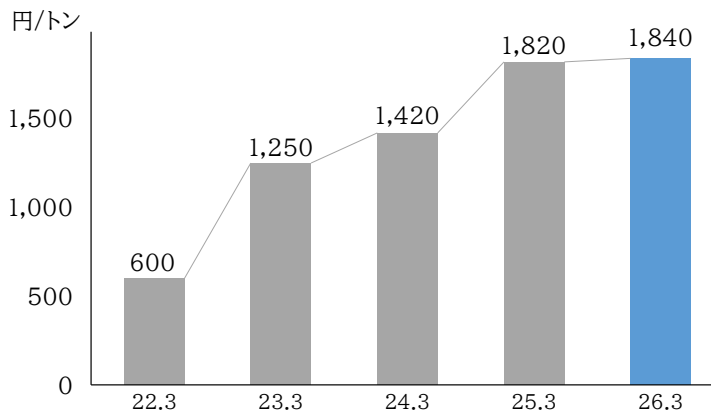
- ◇ 25年4-11月の畜産飼料の市場流通量は前年同期を下回る
- ◇ 26.3期の基金積立金単価は前期比+20円/トンの微増となり、依然として高水準

畜産飼料 4-11月市場流通量の推移



※1.「農林水産省飼料月報」、輸出用除く
2. グラフ上の“%”は前年同期比(4-11月)を示す

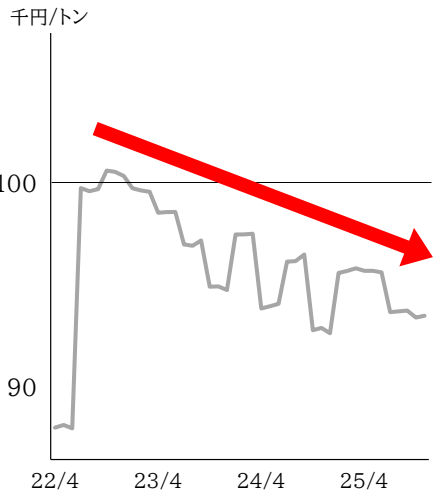
基金積立金単価の推移



8

- ◇ 配合飼料価格は22年7月に高騰したものの、その後緩やかに下落
- ◇ 畜産物相場は牛肉価格も復調し、どの畜種も過去と比較して高い水準で推移

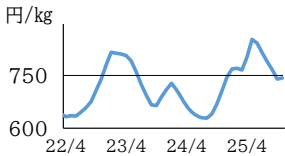
配合飼料価格の推移



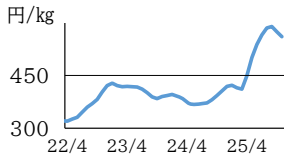
※ 配合飼料供給安定機構「飼料月報」
全畜種加重平均(袋物・バラ)工場渡価格
25/11までの推移

畜産物相場 ※ (独)農畜産業振興機構「国内統計資料」

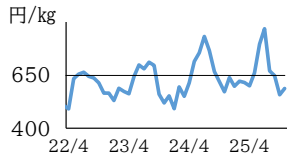
鶏もも肉
(東京卸売価格)



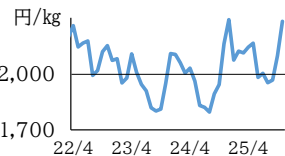
鶏むね肉
(東京卸売価格)



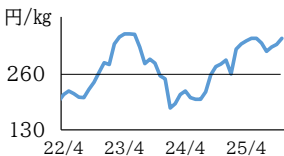
豚肉 上物
(東京市場 卸売価格)



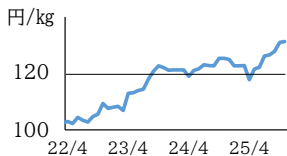
和牛去勢A3
(東京市場 卸売価格)



鶏卵
(東京Mサイズ)



生乳農家
販売価格



※ 25/11までの推移

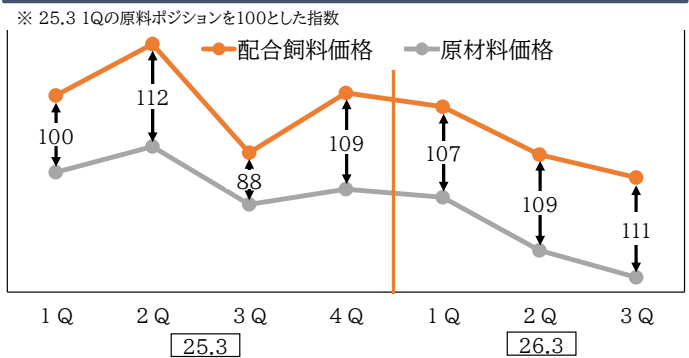
飼料セグメントの状況① 畜産飼料の動向

項目	前年同期比	要因	計画との比較
畜産飼料販売量	 +2.7億	◇ 前年同期比102.4% ○ 養豚用飼料において、お客様の生産性向上に寄与する取組みが評価され増加 ○ 採卵鶏用飼料において、窒素の排出を抑制する飼料の拡販が進み、販売量が増加 ○ プロイラー用飼料の品質が評価され増加	 通期計画 103%
環境に配慮した飼料販売量指数 (24.3期の販売量を100とした指数)		◇ 24.3期対比148% ○ 窒素の排出を抑制し、環境負荷低減に繋がる採卵鶏用及び養豚用飼料が評価され増加 ○ 温室効果ガス削減効果のある飼料添加物を配合した養牛用飼料の販売量は安定的に推移	 通期計画 140%
差別化飼料の売上高構成比	 △0.4億	◇ 26.3期3Qの構成比45.5% ○ プロイラー用及び養牛用飼料の汎用製品の販売量増加により差別化飼料の構成比が低下	 通期計画 47%

飼料セグメントの状況② 原料ポジションの状況

項目	前年同期比	要因	計画との比較
原料ポジション	<div>↑</div> <div>+19.9億</div>	<div>◇ 前年同期比で大幅に改善</div> <div>○ 製品ラインアップの刷新や配合割合の工夫等により付加価値販売を推進</div> <div>○ 製品歩留まり改善の取組みにより原価低減</div> <div>○ 上記取組みの効果もあり原材料価格の下落幅が配合飼料価格の値下げ幅を上回った</div>	<div>☀</div> <div>通期計画 +17.7億</div>

④配合飼料価格及び原材料価格の推移












【原料ポジションとは】
原材料価格と配合飼料価格の変動幅のこと
①原材料価格・・・穀物相場や為替、海上運賃等により変動
②配合飼料価格・・・四半期毎に改定
(例) 変動幅が大きくなる＝原料ポジション改善

飼料セグメントの状況③ 変動費及び固定費の状況











項目	前年同期比	要因	計画との比較
基金負担金	<div>↓</div> <div>△1.4億</div>	<div>◇ 前年同期比で増加</div> <div>○ 積立金単価の上昇により増加</div>	<div>☀</div> <div>通期計画 △2.8億</div>
変動費単価	<div>↓</div> <div>△1.3億</div>	<div>◇ 前年同期比で増加</div> <div>○ 電力費・燃料費単価は横ばい</div> <div>○ 運賃単価(原材料搬入時および飼料運搬時)は値上げの影響もあり上昇</div>	<div>☀</div> <div>通期計画 △3.7億</div>
固定費	<div>↓</div> <div>△3.5億</div>	<div>◇ 前年同期比で増加</div> <div>○ ベースアップ・人員拡充により人件費が増加</div> <div>○ 安定供給を果たすため、工場老朽化対策を計画的に実施し、修繕消耗品費が増加</div>	<div>☁</div> <div>通期計画 △4.3億</div>

飼料セグメントの状況④ 水産飼料の動向

項目	前年同期比	要因	計画との比較
水産飼料の利益改善	 +2.3億	◇ 利益率、販売量、水産物価格のいずれも上昇し利益は増加	 通期計画 +1.0億
利益率		◇ 主原料である魚粉及び代替原料である大豆粕の価格は大幅に下落 ◇ 配合割合の工夫により品質を維持しながらコストを抑制した製品の投入	
販売量		◇ 前年同期比106.0% ○ ウナギ用及びハマチ用飼料は堅調に推移 ○ タイ用飼料は市場規模の縮小により減少	 通期計画 107%
環境に配慮した飼料販売量指数 (24.3期の販売量を100とした指数)		◇ 24.3期対比143% ○ 低魚粉飼料及び陸上養殖向け飼料の販売量が増加	 通期計画 150%

・・・計画達成 ・・・計画未達 13

その他セグメントの状況

項目	前年同期比	要因	計画との比較
その他セグメント	 △1.3億	◇ 前年同期比で減少 ○ 畜産用機器の利益減少分がほぼ減益分に相当	 通期計画 △4.6億
鶏卵販売		◇ 鶏卵相場高により特殊卵の販売が好調 ◇ 鳥インフルエンザ被害からの生産回復と新産地開拓による供給増が販売及び利益に寄与	
肥料		◇ たい肥入り有機配合肥料(新製品)の販売が堅調に推移し、販売量は前年同期を上回る ◇ 原価低減の取組みにより利益は増加	
畜産用機器		◇ 前期に販売した海外の大型案件の反動により海外向けの販売台数が大幅に減少し、減益	
保険代理業		◇ 主力の畜産保険の販売が堅調に推移し、利益は増加	

・・・計画達成 ・・・計画未達 14

26.3期 3Q 決算レビュー

◇ 連結経営成績	4
◇ 営業利益の増減要因	5
◇ 連結財政状態	6
◇ 事業環境①②③	7-9
◇ 飼料セグメントの状況	
① 畜産飼料の動向	10
② 原料ポジションの状況	11
③ 変動費及び固定費の状況	12
④ 水産飼料の動向	13
◇ その他セグメントの状況	14

株主還元

◇ 配当・自己株式取得の状況	16
◇ 株主優待	17

通期見通し

◇ 通期見通し①②	19-20
-----------	-------

その他

◇ 固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ	22
◇ トピックス① 食育活動	23
◇ トピックス② 知名度向上の取組み	24
◇ 参考資料	25

配当・自己株式取得の状況

26.3期

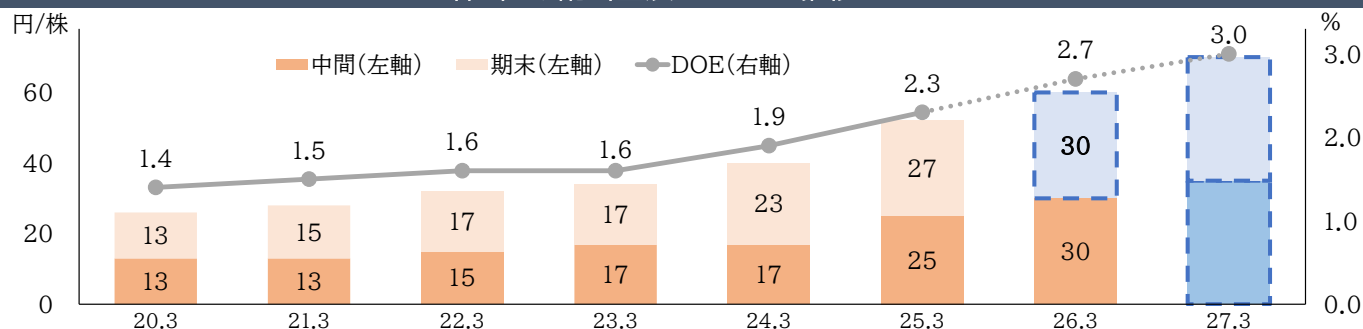
配当金

- ◇ 中間は30円/株で実施済み
- ◇ 期末は30円/株とし、年間60円/株(DOE2.7%)を予定

自己株式取得

- ◇ 上限115万株/15億円の取得を実施中
- 3Q末時点：75万株/12.5億円

1株当たり配当金及びDOEの推移



配当金総額(億円)	7.8	8.4	9.5	10.0	11.8	15.3	17.4(予定)	(未定)
自己株式取得額(億円)	4.6	—	2.8	2.3	—	—	15.0(予定)	(未定)

割当基準日:9月末

- ◇ 当社の有機入り配合肥料『米太郎』で栽培した富山県産コシヒカリを11月中旬に新米でお届け
 - 500株以上1,000株未満 3kg
 - 1,000株以上 5kg



割当基準日:3月末

- ◇ 当社オリジナルQUOカードを6月下旬にお届け
 - 500株以上1,000株未満 1,000円分
 - 1,000株以上 2,000円分
 - 1,000株以上を1年間以上継続保有 3,000円分



※「1,000株以上を1年間以上継続保有」とは、株主名簿基準日(3月末日及び9月末日)の株主名簿に同一株主番号で連続3回以上掲載され、かつ各基準日において1,000株以上保有されていた株主が対象

26.3期 3Q 決算レビュー

株主還元

- ◇ 連結経営成績4
- ◇ 営業利益の増減要因5
- ◇ 連結財政状態6
- ◇ 事業環境①②③7-9
- ◇ 飼料セグメントの状況
 - ① 畜産飼料の動向10
 - ② 原料ポジションの状況11
 - ③ 変動費及び固定費の状況12
 - ④ 水産飼料の動向13
- ◇ その他セグメントの状況14

- ◇ 配当・自己株式の取得の状況16
- ◇ 株主優待17

通期見通し

- ◇ 通期見通し①②19-20

その他

- ◇ 固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ22
- ◇ トピックス① 食育活動23
- ◇ トピックス② 知名度向上の取組み24
- ◇ 参考資料25

通期見通し①

項目	見通し
畜産飼料販売量	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全畜種で前期を上回るも、計画(103%)は下回る見込み <ul style="list-style-type: none"> ○ 採卵鶏用飼料はアニマルウェルフェアに対応した飼料の拡販により堅調に推移していたものの、鳥インフルエンザの影響により計画未達 ○ ブロイラー用飼料及び養豚用飼料は製品の品質と取組みが評価され堅調に推移していたものの、農場火災の影響により計画未達 ○ 養牛用飼料は価格競争の激化や生産者の廃業等の影響により計画未達
差別化飼料の売上高構成比	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 下記差別化飼料の提案営業に注力し回復を図るも、計画(47.0%)は下回る見込み <ul style="list-style-type: none"> ○ ブロイラー用飼料：鶏の骨を丈夫にし、健康に育つ飼料 ○ 養牛用飼料：牛のゲップによる温室効果ガス排出の低減を狙った飼料
原料ポジション	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 計画(17.7億円の改善)を上回る見込み ◇ 穀物相場及び為替の状況により、変動する可能性あり

19

通期見通し②

項目	見通し
水産飼料	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 販売量は計画(107%)を上回る見込み <ul style="list-style-type: none"> ○ ウナギ用飼料は新製品の提案等、取組みを強化したことで堅調に推移 ○ ハマチ用飼料は成績改善の取組みが評価され、堅調に推移 ○ タイ用飼料は市場規模の縮小により計画を下回る ◇ 利益率は魚粉相場が下落傾向で推移したことにより計画を上回る <ul style="list-style-type: none"> ○ 原料相場は為替と海上運賃の影響で変動する可能性あり
変動費単価及び固定費	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 変動費単価は、電気・ガスの補助金で電力費・燃料費単価が低下し、計画より改善 ◇ 固定費は、人件費・修繕消耗品費が増加し、計画より悪化
その他セグメント	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 各事業とも課題への取組みを継続し、販売量・利益ともに計画通り

通期計画を達成する見込み

20

26.3期 3Q 決算レビュー	
◇ 連結経営成績	4
◇ 営業利益の増減要因	5
◇ 連結財政状態	6
◇ 事業環境①②③	7-9
◇ 飼料セグメントの状況	
① 畜産飼料の動向	10
② 原料ポジションの状況	11
③ 変動費及び固定費の状況	12
④ 水産飼料の動向	13
◇ その他セグメントの状況	14

株主還元	
◇ 配当・自己株式の取得の状況	16
◇ 株主優待	17
通期見通し	
◇ 通期見通し①②	19-20
その他	
◇ 固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ	22
◇ トピックス① 食育活動	23
◇ トピックス② 知名度向上の取組み	24
◇ 参考資料	25

固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ

2026年1月30日付け取締役会にて固定資産の譲渡を決議し、同日公表

譲渡の理由

経営資源の有効活用および資産効率の向上を図るため

譲渡資産の内容

- | | |
|---------|------------------------|
| ◇ 資産の内容 | 土地11,672㎡、建物21,228.97㎡ |
| ◇ 所在地 | 神奈川県横浜市鶴見区大黒町 |
| ◇ 譲渡益 | 約31億円 |
| ◇ 現況 | 物流倉庫賃貸物件 |

※ 1. 相手先との取り決めにより、譲渡価額及び帳簿価額は非公表
2. 譲渡益は、譲渡価額から帳簿価額及び譲渡にかかる諸費用の見込額を控除した概算額

譲渡先の概要

国内の事業法人

- ※ 1. 相手先との取り決めにより、非公表
2. 相手先と当社との間に資本関係、人的関係及び取引関係はなく
相手先は当社の関連当事者に該当しない

譲渡の日程

- ◇ 契約締結日 2026年1月30日
◇ 物件引渡期日 2026年4月(予定)

今後の見通し

- ◇ 26.3期の連結決算に与える影響はない
- ◇ 27.3期 1Q連結決算において、譲渡益約31億円を特別利益に計上する見込み

トピックス① 食育活動

福山女学園大学 × 星ヶ丘テラス
生活科学部管理栄養学科

サイエンス カフェ

SCIENCE CAFE

参加費 無料

“おいしい”は、動物たちの“ごはん”から作られる
生産者さんの想いと飼料
私たちの食卓を繋ぐ物語

2025年 12月 13日 (土)

時間 15:00 ~ 16:00
場所 星ヶ丘テラスEAST3F コミュニティールーム
司会 福山女学園大学生活科学部 三田 有紀子先生
ゲスト 中部飼料株式会社 社員

安全・安心で美味しい卵やお肉、お魚を食卓へ届けるためには…
そんな生産者さんの想いを、動物の“ごはん”である飼料から支えている会社があります。

このイベントでは、全国の生産者さんを訪ね、現場の喜びや苦労をよく知る飼料会社の視点から、飼料を通じて実現した“可能性ある畜水産物”の飼料知識をご紹介します。

お飲み物や
お菓子の
ご用意も
あります♪

- ◇ 25年12月 星ヶ丘テラス(名古屋市)にて、福山女学園大学様とのタイアップ企画を実施
- 当社商品の開発秘話や来場者から「こんなものがあっていいな」と思う畜水産物についてディスカッションを行った

質問カード

「こんな畜水産物があれば応援したい、食べてみたいな」というアイデアを自由にお書きください。他の質問や感想も大歓迎です！

来場者の回答
「うなぎの味がするさんまがあればいいな」
「殻が剥きやすい卵があると便利です」



今後も食に携わる企業として、積極的に食育活動へ取り組んでいく

※ 関係者の皆さまより、撮影および掲載の許可を頂戴済み

23

トピックス② 知名度向上の取組み

- ◇ 昨年実施した株主アンケートでは、当社の“知名度の低さ”に対するご意見が多数寄せられた
- ◇ 直近、知名度向上に向けた施策を実施しており、今後も知名度向上に向けた取組みを行っていく

2025年11月26日

日本経済新聞朝刊・全国版
「中部経済特集」に掲載

地球も
人間も
動物も

みんなおいしい
中サ
みんなうれしい

会社HPをCheck!

中部飼料株式会社

2026年2月1日～

新幹線名古屋駅北改札口の内柱3本に掲出

おいしさと、ごまの栄養。濃厚な黄身。

ごまたまご

中部飼料株式会社

※掲出イメージ

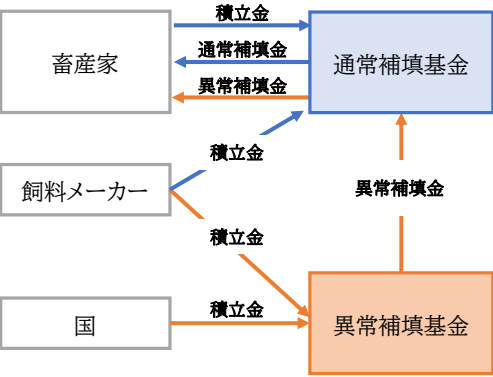
2025年12月31日～2026年1月5日

熱田神宮(名古屋市)にてごまたまごCM放映

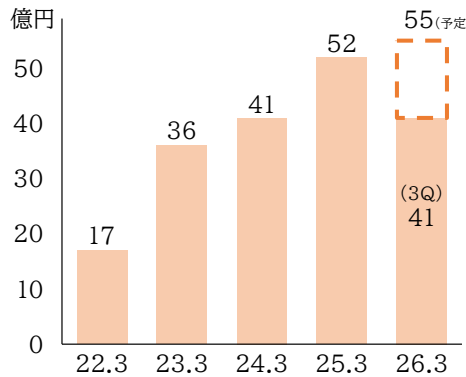


24

配合飼料価格安定制度



④基金負担金の推移



- 目的** ◇ 飼料価格上昇による畜産経営の影響を緩和
- 内容** ◇ 通常補填と異常な価格高騰時に通常補填を補完する異常補填の二段階の仕組みにより、畜産家へ補填金を交付
- ◇ 通常補填は畜産家と飼料メーカーが積立て
- ◇ 異常補填は国と飼料メーカーが積立て
- ◇ 積立金の額は財源により増減

差別化飼料

- ◇ お客様との取組みの中で開発
- ◇ お客様の生産性向上や特性ある畜産物の生産に貢献する高付加価値製品

環境に配慮した飼料

- ◇ 環境負荷の軽減、動物の飼育環境の改善、海洋資源の保護等につながる飼料
- ◇ 従来の飼料と比べて鶏糞や豚糞の発生量を低減する飼料、魚粉を使わない水産飼料等がある